

## 平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年10月15日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 テイツー  
 コード番号 7610 URL <http://www.tay2.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀 久志  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 荒井 薫  
 四半期報告書提出予定日 平成24年10月15日 配当支払開始予定日

TEL 03-5719-4775  
 平成24年11月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年2月期第2四半期の業績(平成24年3月1日～平成24年8月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	16,051	△4.3	442	62.3	454	61.6	228	—
24年2月期第2四半期	16,769	—	272	—	281	—	△140	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第2四半期	441.71	—
24年2月期第2四半期	△270.73	—

※24年2月期第2四半期の対前年対同四半期増減率につきましては、平成24年2月期第1四半期より連結財務諸表非作成会社となったため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
25年2月期第2四半期	12,214	—	5,529	45.3	—	—	10,676.19	
24年2月期	12,220	—	5,366	43.9	—	—	10,349.90	

(参考) 自己資本 25年2月期第2四半期 5,527百万円 24年2月期 5,358百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	110.00	—	110.00	220.00
25年2月期	—	110.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	110.00	220.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年2月期の業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	△0.5	800	8.1	800	8.2	430	—	830.52

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年2月期2Q	526,400 株	24年2月期	551,400 株
----------	-----------	--------	-----------

② 期末自己株式数

25年2月期2Q	8,652 株	24年2月期	33,652 株
----------	---------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年2月期2Q	517,748 株	24年2月期2Q	517,748 株
----------	-----------	----------	-----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ【業績予想に関する定性的情報】をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 追加情報 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(7) 重要な後発事象 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績の分析

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東北地方において、復興への動きが緩やかに続いているものの、欧州の債務危機による世界経済の下ぶれリスク、円高による国内景気の減速懸念など、先行きの不透明感が増しております。当社が属する小売・サービス業におきましても、消費マインドの冷え込みが続いており、依然として厳しい環境にあります。

このような経営環境の下、当社は独自のゲーム専門パッケージ店舗である3Bee（スリービー）第1号店を神奈川県藤沢市に出店したほか、TSUTAYA単独店を2店舗出店するなど、古本市場店舗のみならずお客様のニーズに応じた店舗パッケージの出店戦略を展開するとともに、不採算店の閉店を実施するなど、将来の収益改善のための布石を投じてまいりました。また、店舗運営につきましては、引き続きオペレーションの改善を行い、業務効率化を図ってまいりました。

しかしながら、前第2四半期累計期間には含まれていたアイ・カフェ事業部門が、会社分割により当第2四半期累計期間に含まれていないため、当第2四半期累計期間の売上高は160億5千1百万円（前年同期比4.3%減）となりました。一方利益面では、営業本部及び間接部門の業務効率化が進んだ結果、営業利益は4億4千2百万円（前年同期比62.3%増）、経常利益は4億5千4百万円（前年同期比61.6%増）、四半期純利益は2億2千8百万円（前年同期は1億4千万円の四半期純損失）となりました。

なお、四半期純利益が大幅に増加した主な要因は、前事業年度に計上した資産除去債務に関する会計基準の適用等に伴う3億4千1百万円の特別損失をはじめとして、その他の特別損失が大幅に減少したことによるものであり、加えて、経常利益の純増が寄与しております。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末の総資産は122億1千4百万円となり、前事業年度末と比べて5百万円減少いたしました。資産の内容に重要な変化はありません。負債は66億8千4百万円となり、前事業年度末と比べて1億6千9百万円減少いたしました。これは主に短期借入金の減少によるものです。純資産は55億2千9百万円となり、前事業年度末と比べて1億6千3百万円増加いたしました。これは配当金の支払いがあった一方で、純利益の計上に伴う利益剰余金の増加によるものです。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末と比較して4億3千9百万円増加し、32億6千8百万円となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、11億4千万円の収入となりました。主な要因は税引前四半期純利益4億4千4百万円、減価償却費2億3千6百万円、たな卸資産の減少3億3千8百万円、法人税等の還付1億4千1百万円であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、2億4百万円の支出となりました。主な要因は、関係会社株式の取得9千5百万円、事業譲受による支出4千4百万円であります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、4億9千6百万円の支出となりました。主な要因は、短期借入金の減少による支出4億5千万円、リース債務の返済による支出8千8百万円であります。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

今後の景気に関しては不透明感を払拭できないものの、当第2四半期累計期間の業績を反映し、平成25年2月期の売上高は360億円（前期比0.5%減）、営業利益は8億円（前期比8.1%増）、経常利益は8億円（前期比8.2%増）、当期純利益は4億3千万円（前期は1千9百万円の当期純損失）を見込んでおり、平成24年10月2日付当社「業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### （1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。  
なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

### （2）追加情報

#### （会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期会計期間 (平成24年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,612,008	3,351,899
売掛金	300,329	298,215
有価証券	300,000	—
商品	3,907,897	3,562,533
貯蔵品	23,269	29,863
その他	708,924	693,220
流動資産合計	7,852,429	7,935,732
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	853,323	810,458
その他(純額)	704,758	644,606
有形固定資産合計	1,558,081	1,455,065
無形固定資産		
投資その他の資産		
差入保証金	1,262,971	1,254,679
その他	1,262,384	1,328,016
投資その他の資産合計	2,525,356	2,582,696
固定資産合計	4,367,684	4,278,599
資産合計	12,220,114	12,214,332
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	893,921	953,448
短期借入金	750,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	781,859	682,281
未払法人税等	—	232,029
賞与引当金	68,148	96,209
ポイント引当金	256,888	242,304
資産除去債務	1,170	11,168
その他	671,937	664,126
流動負債合計	3,423,926	3,181,567
固定負債		
長期借入金	2,255,276	2,454,511
退職給付引当金	255,909	273,650
役員退職慰労引当金	177,245	133,931
資産除去債務	406,743	401,453
その他	334,673	239,426
固定負債合計	3,429,848	3,502,972
負債合計	6,853,774	6,684,540

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期会計期間 (平成24年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,165,507	1,165,507
資本剰余金	1,119,796	1,119,796
利益剰余金	3,323,466	3,310,078
自己株式	△249,199	△64,069
株主資本合計	5,359,570	5,531,312
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△931	△3,735
評価・換算差額等合計	△931	△3,735
新株予約権	7,700	2,214
純資産合計	5,366,339	5,529,792
負債純資産合計	12,220,114	12,214,332

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
売上高	16,769,072	16,051,859
売上原価	12,037,319	11,340,221
売上総利益	4,731,752	4,711,638
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	114,005	103,284
従業員給料及び賞与	784,009	709,159
パート・アルバイト給与	565,043	594,050
賞与引当金繰入額	102,208	96,209
役員退職慰労引当金繰入額	13,624	10,894
退職給付費用	27,254	29,014
賃借料	1,007,026	998,244
減価償却費	271,393	221,888
のれん償却額	—	934
その他	1,574,721	1,505,819
販売費及び一般管理費合計	4,459,288	4,269,499
営業利益	272,464	442,138
営業外収益		
受取利息	2,625	1,820
受取配当金	406	981
受取賃貸料	17,840	25,670
営業補償金	—	4,000
保険解約返戻金	—	10,284
補助金収入	17,885	—
その他	8,740	23,718
営業外収益合計	47,497	66,474
営業外費用		
支払利息	20,407	25,205
不動産賃貸費用	14,509	19,766
その他	3,714	8,993
営業外費用合計	38,631	53,965
経常利益	281,330	454,648
特別利益		
新株予約権戻入益	20,763	—
その他	4,444	—
特別利益合計	25,208	—



(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)
特別損失		
固定資産除却損	2,605	2,101
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	341,509	—
事業譲渡損失引当金繰入額	86,000	—
店舗閉鎖損失	58,423	8,413
その他	3,975	—
特別損失合計	492,514	10,514
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△185,974	444,133
法人税等	△45,803	215,439
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△140,170	228,693

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△185,974	444,133
減価償却費	291,419	236,700
のれん償却額	—	934
賞与引当金の増減額 (△は減少)	22,313	28,060
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△20,392	△14,584
事業譲渡損失引当金の増減額 (△は減少)	86,000	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	20,798	17,741
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△5,337	△43,314
受取利息及び受取配当金	△3,031	△2,801
支払利息	20,407	25,205
長期貸付金の家賃相殺額	30,010	24,052
新株予約権戻入益	△20,763	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	341,509	—
固定資産除却損	2,605	2,101
売上債権の増減額 (△は増加)	55,905	2,510
たな卸資産の増減額 (△は増加)	9,161	338,770
未収消費税等の増減額 (△は増加)	—	31,380
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△17,464	△95,641
仕入債務の増減額 (△は減少)	△310,840	59,527
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△10,531	42,928
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△17,137	△45,941
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	27,000	△4,000
その他	54,706	△24,812
小計	370,363	1,022,952
利息及び配当金の受取額	504	1,214
利息の支払額	△20,023	△25,228
法人税等の支払額	△248,137	△158
法人税等の還付額	—	141,488
営業活動によるキャッシュ・フロー	102,707	1,140,268

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△45,590	△37,005
無形固定資産の取得による支出	△26,330	△1,836
投資有価証券の取得による支出	△6,279	△15,339
関係会社株式の取得による支出	△8,000	△95,625
貸付けによる支出	—	△55,000
貸付金の回収による収入	3,012	9,199
長期前払費用の取得による支出	△11,551	△5,743
差入保証金の差入による支出	△54,806	△43,061
差入保証金の回収による収入	50,824	61,143
資産除去債務履行による支出	△16,178	△5,197
事業譲受による支出	—	△44,379
事業譲渡による収入	80,000	—
その他	14,180	28,702
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△20,719</b>	<b>△204,142</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△450,000
長期借入れによる収入	—	500,000
長期借入金の返済による支出	△397,859	△400,343
配当金の支払額	△56,745	△56,950
リース債務の返済による支出	△101,260	△88,940
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△555,864</b>	<b>△496,233</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>—</b>	<b>△3</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△473,876	439,888
現金及び現金同等物の期首残高	1,368,690	2,828,451
現金及び現金同等物の四半期末残高	894,814	3,268,339

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第2四半期累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他(注)	合計
	マルチパッケージ 販売事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	15,709,869	15,709,869	1,059,202	16,769,072
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	15,709,869	15,709,869	1,059,202	16,769,072
セグメント利益	782,098	782,098	50,988	833,086

(注) その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アイ・カフェ及びFamily Martの運営等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	782,098
「その他」の区分の利益	50,988
全社費用(注)	△560,622
四半期損益計算書の営業利益	272,464

(注) 全社費用は、主に当社の管理部門にかかる一般管理費等であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)

当社は、「マルチパッケージ販売事業」を単一の報告セグメントとしている為、記載を省略しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (7) 重要な後発事象

該当事項はありません。